

韓国のでんかん患者会についての現状

심재신 シム・ジェシン
Shim Jaeshin



てんかん
간질



脳電症
뇌전증

7-8歳頃 大発作
詳細不明のてんかん診断
最後の発作19歳, 今まで発作なし
軍隊OK、運転OK
20年以上薬物服用
薬物服用なし3年



インターネットコミュニティ(オンラインでのみ活発)
食事、コーヒー、ボーリングなどの親睦活動

政策提案、認識改善キャンペーンなどです
参加は低調



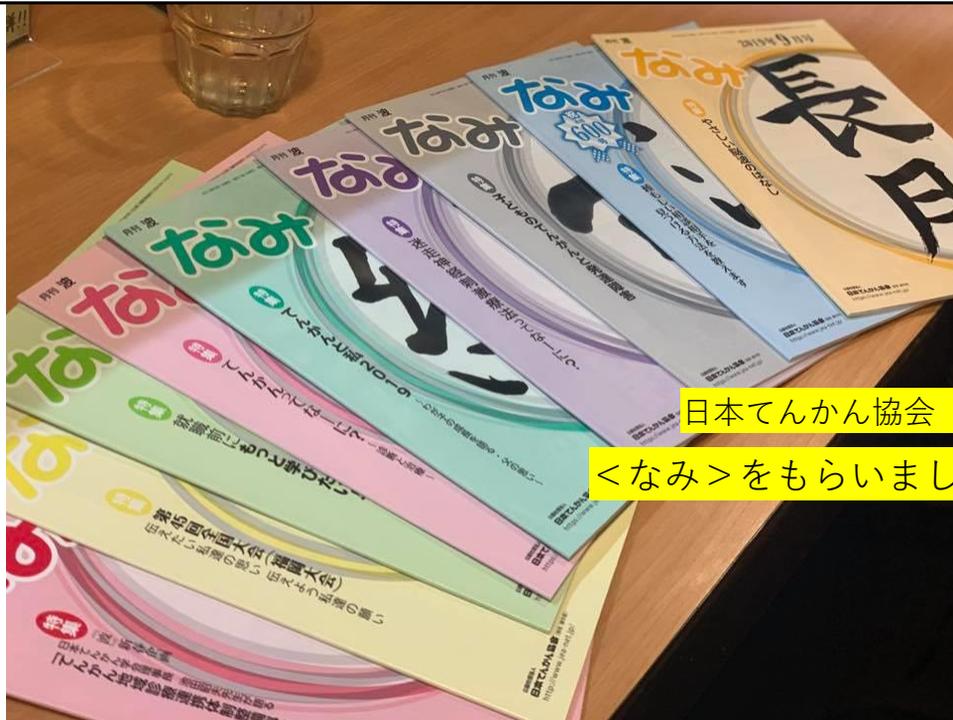
病院の中でも会えなかったてんかんの患者、
社会でつながって初めて会ったてんかん患者



てんかん患者会
あたたかい視線



ON-OFF
50回以上
いろんなどころから、
いろんな人たちと一緒に



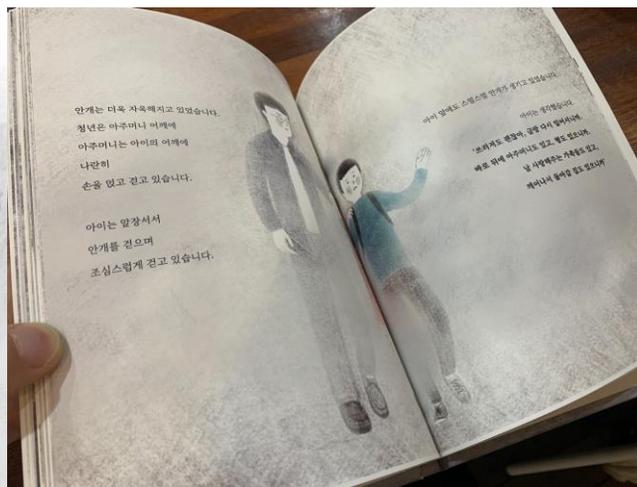
日本てんかん協会 訪問
<なみ>をもらいました。



<あったかいなみ>をつくりました。



自分のてんかんのことと経験、
活動で出会った人たちとの話を絵本で作りました。



NEWS, MEDIA, YOUTUBE で
いろいろ出てました。





International Bureau for Epilepsy
**ASIAN & OCEANIAN GOLDEN LIGHT AWARD
 WINNER**

Jae-shin Shim
 South Korea



韓国てんかん協会、
 てんかん支援センターなど
 いろんな仲間からもらった応援

私のようなてんかん持ってる本人、
 家族が主体になって活動する人たちを探しにいく。
 Everywhere, Purplizer





テグじゃないところでも
Everywhere, Purplizer



問題解決の主体、専門家はてんかん患者、家族

Epilepsy+LivingLAB = EpilLAB

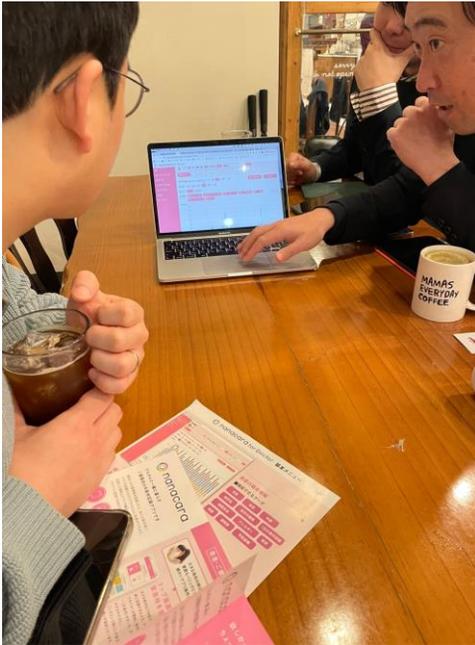


Everywhere
퍼플라이지



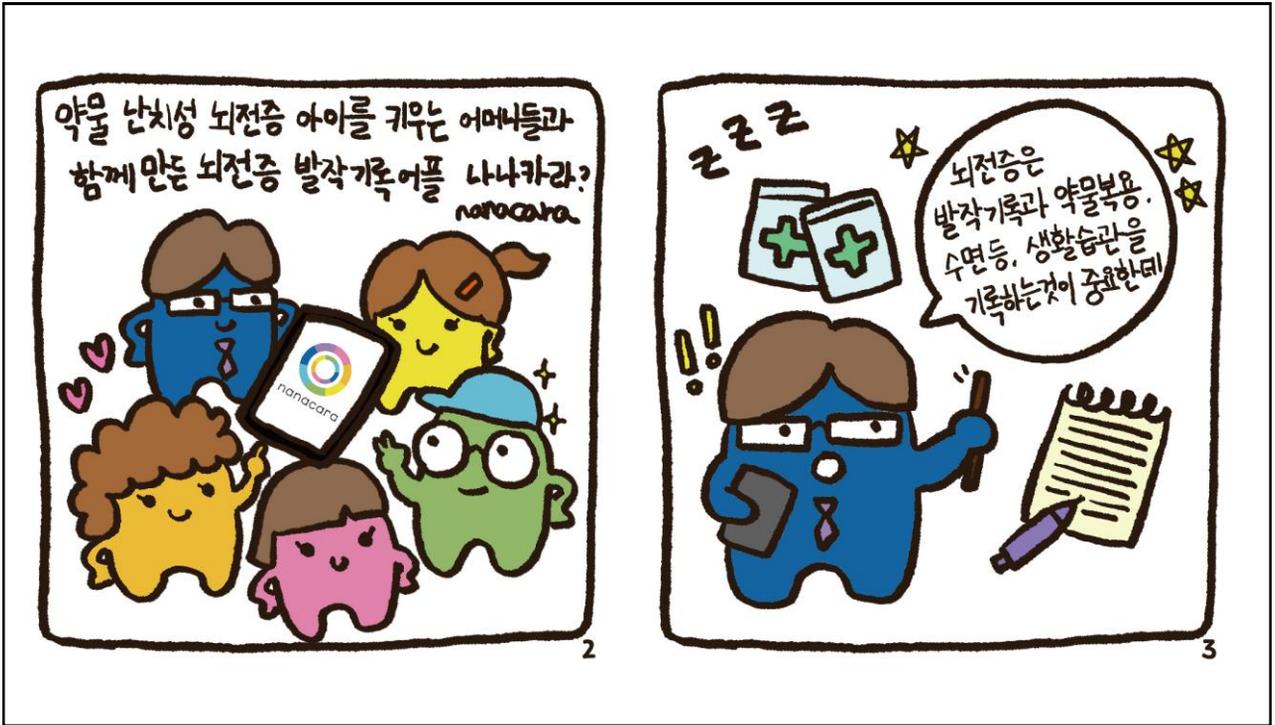
KODとの運命的な出会い

23. 12. 14. ソウル



韓国てんかん協会、てんかん支援センター、患者と家族そしてお医者さんまでです。出会いながら、てんかんとともにする生活の厳しさを聞きます。解決するためのアイデアを集めています。





文化芸術を媒介としています、てんかん患者、家族だけではなく他の社会構成員と共にする自助会

바람직한 시민을 기원 사함을 위하여 준비한 조금 솔직하고 화답고 따뜻하기도 한 그림 전시회 그리고 난독회

따뜻한 겨울 우화展

患者、家族が持っている「てんかん生活」の専門性に基づいて同僚カウンセラー、活動家として成長できる土台作り必要



てんかんがあっても安全で幸せな世の中に向かって。

ありがとうございます。